

## 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：1

<b>企画名</b>
家具展 2015 ～モノづくり/ヒトづくり～
<b>実施日</b>
平成 27 年 11 月 7 日 (土) 9:00~17:00 ~ 平成 27 年 11 月 8 日 (日) 9:00~17:00
<b>実施場所</b>
工学部コミュニケーションギャラリー (ガレリア)
<b>企画代表者の氏名, 所属</b>
氏名: 徳本昌弘 所属: 大学院工学研究科建築学専攻
<b>構成員の氏名</b>
天野真登 津田康平 前田凌児 奥田美香子 原田慎平 佐々木優 長廻拓史 高橋啓悟 村井栄斗 竹原溪吾 小林亮平 山本健太郎
<b>指導的立場の教員氏名</b>
岡河 貢 (建築設計学研究室)
<b>企画の目的及び内容</b>
家具展を開催することで、家具づくりを通して来場者がもっと身近にモノづくりを体験する場所をつくることを目的としています。家具は生活空間に密着したモノであり、自分にあった家具を暮らしに取り入れることで、その生活空間を豊かにすることができます。その家具を自分の手で作り上げていく過程の中で、その製作技術を仲間と教えあったり、来場者と交流することができるコーナーを設けることで、モノづくりとヒトづくりを図っています。
<b>来場者数</b>
11月7日(土): 113人 11月8日(日): 160人
<b>主催・後援団体 (外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模)</b>
<b>活動の内容 (準備, 広報活動, 当日の様子等)</b>
<p>自分で製作した家具を大学祭で展示するために、平日の 6 時から 9 時までという時間制限に加えて 1 ヶ月という短い期間の中で仕上げようとお互いに支え合いながら活動を続けていました。この家具展で知り合った人同士で、一方の人が材料を支えて手伝っている場面や、作り方が分からない時は教えあう場面を多く見ることができたので、ヒトづくりをうまく実現できているのではないのかと思えました。また、急いでいる中でも工具の使い方がわからない時は必ず指示を待つようにしたところ、無事故で大学祭を迎えることができました。</p> <p>大学祭当日には、木工パズルを解くことができたなら、そのパズルをプレゼントするコーナーを設けました。製作した家具の展示に来る人以上にそのパズルの仕組みや解き方に熱中する親子や大学生が多く、モノづくりには年齢に関係なく引き込まれる魅力があることを実感しました。このおかげで、雨が降っていたのにもかかわらず多くの来場者を集めることができました。</p> <p>うまく生かし切れなかったのが広報活動で、家具展開催のチラシやもみじへの掲載に加えて、twitter なども利用できればもっと人を引き込むことができたのではないかと思います。また、開催場所が工学部棟の中間にある大屋根 (ガレリア) の下だったのですが、中央図書館からガレリアまでの道のりや、スペイン広場からガレリアまでの動線をうまく可視化することが出来れば良かったのではないかと感じました。</p>

(裏面に続く)

# 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

## アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

### 成果・課題

今年の家具展に参加していただいた人が製作した家具は、トイレ用品置き場や引き出し、スツールなど小さいものが多かったのですが、どれも作った理由やその形に納得できるものや実用的な家具が多かったように感じました。今の社会には必要なもの以上に、 unnecessaryなものや情報があふれており、その選択肢が多すぎるように感じます。そもそも、生活が豊かであるということは、必ずしもお金持ちであることや自分の身の回りに存在するものが多いということではないということを考えさせられました。これから生きていく上で、消費者である私たちが豊かな生活に必要なものを見極めていかないといけないと思います。その点で家具が生活を豊かにする要因の一つなのではないかと感じることができた家具展でした。

### 実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)